

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子

 <p>学校だより</p> <h1>高松</h1> <p>令和8年2月27日 発行</p>	<p>立川市立第五小学校</p> <p>校長 関口 保司</p> <p>〒190-0011 立川市高松町1丁目1番25号</p> <p>TEL 042-523-5238 042-523-5230 (こだま学級)</p> <p>FAX 042-529-0854</p> <p>HP http://www.tachikawa-edu.jp/es05/</p>
--	---

令和8年度に向けて 挑戦 チャレンジ ～中学年の教科担任制導入・水泳指導の民間委託～

校長 関口 保司

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。令和7年度も最後の月を迎えました。卒業・進級に向けて、しっかりと総仕上げの月にしていきたいと考えています。よろしくお祈りします。

そして4月から、令和8年度がスタートします。本校では、令和8年度より新しい取組がいくつかスタートします。その中から、中学年(3・4年生)の教科担任制導入と水泳指導の民間委託について書かせていただきます。

本校では平成30年度から、高学年の教科担任制を導入し、令和3年度から東京都教育委員会の教科担任制推進校としての取組を進めてきました。文部科学省では、20年前から小中連携や義務教育9年間のまとまりについて、そして子どもたちの発達について話し合いを進める中で、教科担任制について議論が重ねられてきました。東京都では令和3年度から導入を始め、令和10年度までに12学級以上のすべての学校で導入するとされています。その目的は都のガイドラインに「小学校の『学び方』『教え方』を改革するため、加配された教員等を活用しながら、小学校高学年における専門性の高い教科指導を実現し、中学校教育への円滑な接続を図るとともに、発達段階に応じた指導体制を構築し、学年・専科のまとまりでより多面的・多角的な児童理解の促進を図るなど、学校全体の指導体制の転換を図る」と、趣旨として記されています。

本校では教科担任制のこれまでの成果として、学力面では昨年の全国学力学習状況調査で、国語・算数・理科ともに全国平均を大きく上回る結果を残すことができました。また生活指導面でも、児童のアンケート調査で、担任の先生以外に困っていることを相談できる先生がいるという項目等で良い結果がでました。そして卒業生へのアンケートでも、教科担任制の経験が中学校生活に役立ったと答えてくれました。課題としては、時間割編成が大変なこと等があげられます。学年や学級独自の時間が少なくなり、行事等の取組では、これまで以上の工夫が必要になります。

そして令和6年8月、文部科学省は中学年での教科担任制の必要性について中教審の審議のまとめを発表しました。これを受け、東京都でも中学年での教科担任制を進めることになり、令和8年度から本校で中学年でも教科担任制を実施することになりました。

水泳指導については、立川市として民間委託を進めており、本校は来年度から2学期末から3学期始めにかけて、金田 SC で水泳指導を実施することになりました。またこれを機会に、暑い時期の校庭での体育指導を見直し、時期を分散して取り組むことにしています。

教科担任制や水泳指導等の新たな取組は、令和の時代における新しい教育活動だと私は考えています。これからも本校の教育活動に、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(2・3年生の保護者会で校長が行った、中学年教科担任制導入の説明資料の要旨は、QRコードからご覧になれます)

